

# 平成25年度 明倫小学校 第2回 学校関係者評価委員会

平成25年10月17日(木)開催

## ■学校関係者評価委員

梅地 信吾	元明倫小学校長	元児童相談所相談員
村田 明美	萩市児童クラブ指導者	萩市人権擁護委員
岩崎喜一郎	明倫小学校PTA顧問	
大嶋 栄	明倫小学校PTA会長	
柳林 浩一	明倫小学校	校長
宇田川明恵	明倫小学校	教頭
矢野 憲文	明倫小学校	教頭

## ■学校評価(前期)について ~主な意見~

### ○特色ある学校づくり「松陰教学の推進」

- ・朗唱文に合わせて児童がめあてを設定することが、全校で共通した取組となっている。
- ・朗唱視察訪問が多いが、観てもらうことが児童の励みとなりプラスになっている。

### ○特色ある学校づくり「積極的な情報発信」

- ・学校だよりの内容が充実していて、学校長の文章など地域の人も楽しみにしている。
- ・Web ページに新校舎の工事の様子や児童の活動の写真等更新され、見るのが楽しみ。

### ○学力の向上「家庭学習の充実」

- ・学年×10分の家庭学習のめやすの時間があるというのは、保護者にも分かりやすい。
- ・経験によって身に付くものがあるので、どうやって体験させるかが大切である。

### ○学力の向上「授業改善」

- ・一人一授業の公開授業研究に全教員が取り組み、授業改善につなげている。
- ・全国学力・学習状況調査結果で全国平均と大差ないが、個人差が大きいのが課題である。

### ○心の教育の充実「明倫小A あいさつ」

- ・あいさつの取組として、「7mのあいさつ」という目標があることがたいへんよい。
- ・学校の外でも、児童が知らない人にあいさつをすることができるようになってきている。

### ○心の教育の充実「明倫小B 無言清掃」

- ・教員によってどのように学級で児童に働きかけているか、意識の差が課題である。
- ・授業参観中、汚れたところを自分から進んで掃除をした児童がいてすばらしい。

### ○心の教育の充実「明倫小C 主体的に取り組む活動」

- ・松陰教学と関連付けて、郷土の偉人がどのようにして壁を乗り越えたか紹介するとよい。
- ・児童が主体的に取り組むことができる機会を、意識して設定していくことが大切である。

### ○安心・安全な環境づくり「配慮を要する児童へのかかわり」

- ・気になる児童の情報を全校で共有し対応しているチームワークがとてもよい。
- ・PTA や児童クラブとも連携し、情報共有した取組によって良い方向に向かっている。

### ○安心・安全な環境づくり「安全な登下校」

- ・見守り隊の方が登下校の安全だけでなく、個々の児童を把握し対応され助かっている。
- ・教員が学校の外であいさつ運動をしているので、気になる児童の引継が円滑にいく。

### ○業務改善「会議の時間短縮」「仕事の効率化」「勤務状況の改善」

- ・会議の時間短縮や勤務状況の改善等、昨年度よりよくなってきているが、今後も努力して改善を図る必要がある。
- ・朝早くからの勤務や夜遅くまでの勤務は、教職員によって勤務のスタイルが違い、それを認めていく雰囲気づくりが大切である。
- ・来年度から職員室が一つになり情報共有をしやすくなり、会議の時間短縮にもつながるであろう。